

6月25日（火）

1～4年 平和のお話「音語り虹」：教育週間の取組

6月24日（月）から、「長崎っ子の心をつめる教育週間」がスタートしました。

今日は、その取組の一つとして、音語り「虹」のみなさんによる平和のお話を2時間にわたって実施しました。

音語り「虹」のみなさんは、今年で3年続けて来校していただき、平和について、命の尊さや大切さについて、ピアノ演奏を重ねながら、朗読を通して子どもたちに語っていただいています。

今年も、3つのお話がありました。

1つ目は、「トットちゃんの15つぶのだいず」です。戦争時の苦しい生活や、大切な人との関りについて考えることができました。

2つ目は、「さよならを言えるまで」です。どんなに大切な人や動物でも、別れは必ずやってきます。命との別れを通して、命の大切さを学びました。

3つ目は、「ハナミズキのみち」です。東日本大震災で御子息を亡くしたお母さんがつくった物語です。つなげていく大切さ、離れてもつながる強さを感じました。

音語り「虹」のみなさんの表現の豊かさに、子どもたちもよく集中して聞き入っていました。ぜひ、来年も一緒に「平和」「命」について学んでいきたいと思います。

